

「開校70周年記念 校歌 特別授業」

4年生は、道徳「わたしたちの学校の校歌」という学習にからめ、4月17日(水)に、大道小学校の校歌誕生秘話について特別授業を行いました。

大道小の校歌は3月1日で55歳となります。

開校から15年の間、大道小には校歌がなく、当時は「幻の校歌」とよばれる一曲を歌っていたそうです。そして、昭和45年、第4代校長の沼上先生が中心となり、大道小校歌を完成させました。

事前の授業では、「幻の校歌」を手がけた、先生方の知られざる努力にスポットを当てて、校歌を作られた元校長・沼上先生の願いなどについて学んでいきました。

そして4月17日(1994年4月に沼上校長先生がご逝去されてから、ちょうど30年後の春)、沼上元校長先生のご子息をゲストにお招きし、校長先生の様々なエピソードを語っていただきました。



授業のラストでは、4クラスみんなで元気いっぱい校歌を歌いました。体育館中に響き渡った、笑顔いっぱいの子どもの表情や歌声が印象的でした。

授業後の感想コメントよりいくつか紹介します。

「大道小の校歌がもっと好きになりました」

「沼上校長先生、本当にありがとうございました！天国からずっと見守っててください」

「幻の校歌も本当の校歌も、両方とも歌いやすく、歌詞もすてきて、ずっと歌っていきたいです」

本校自慢の校歌は、今までもこれからも多くの人たちに愛され、守られ、大切に受け継がれていくことと思います。

